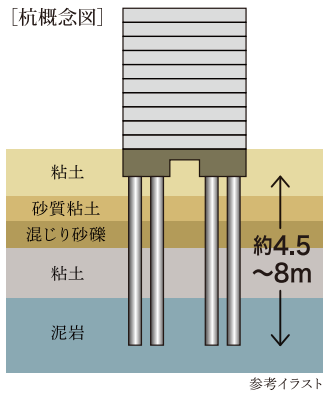


STRUCTURE | 強固な構造

杭基礎について

建物の基礎は、回転貫入鋼管杭(インジプラス工法)。N値(※)が50以上の強固な支持地盤まで打ち込まれた51本の杭が建物の荷重を支えます。



N値(※)

N値とは地盤の硬さを示す指標で、標準貫入試験により得られます。ロッド(鉄管)の先端にサンブラーを付けて、重さ63.5kgのハンマーを75cmの高さから自由落下させて、サンブラーが30cm地面に貫入するのに必要な打撃回数のことです。この打撃回数の数値が大きいほど建物の支持地盤に適しており、マンションの場合、30~50のN値が求められます。

N値	対象密度
0~4	非常に緩い
4~10	緩い
10~30	中位
30~50	縮まっている

コンクリート圧縮強度

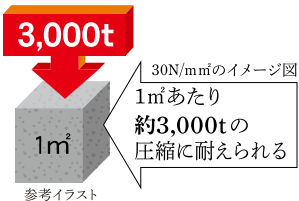
プラウディアコート越来で使用するコンクリートは、圧縮強度27N/mm²~45N/mm²の高強度コンクリートを使用しています。高いコンクリート強度は建物自体の強度も高め耐震強度の向上にも寄与します。

※上記コンクリート強度は、現場で加算する3N/mm²は含まれておりません。
※記載事項については該当しない箇所もございます。詳細につきましては係員又は設計図書にてご確認ください。

コンクリート耐久設計基準強度と構造体の耐久年数の目安

計画 供用期間	耐久設計 基準強度 (N/mm ²)	大規模修繕 不要予定期間	供用限界 期間
一般	18N/mm ²	およそ 30年	およそ 65年
標準	24N/mm ²	およそ 65年	およそ 100年
長期	30N/mm ²	およそ 100年	—

※建築工事標準仕様書の同解説JASS5日本建築学会2003年版
※上記コンクリート強度は、原則建物本体の強度を表示しており、土間、外構に使用されているコンクリート強度は該当しません。



ホルムアルデヒド対策

床や天井、壁などの内装材には、シックハウスの要因となる化学物質ホルムアルデヒドの放出量が極めて少ないと証される(F☆☆☆☆)のものを使用。塗料や接着剤などもホルムアルデヒド対策に応じたものを採用しています。

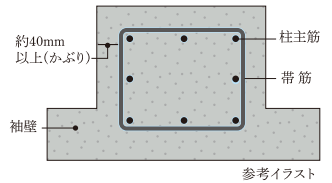
※ホルムアルデヒドの含有量、使用状況については各建材メーカーの発表に基づく表示。

建 材	表示区分	等 級
内装建材 クロス等	F☆☆☆☆	↑ 上位(良い) ↓ 下位(悪い)
	F☆☆☆	
	F☆☆	
	F☆	



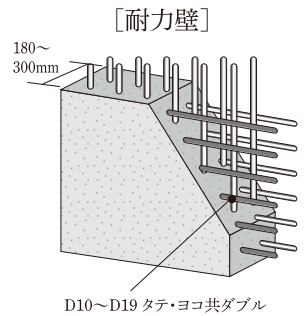
コンクリートかぶり厚(劣化対策)

鉄筋表面からコンクリート外側までの厚さ「かぶり厚」は、屋内約30mm、屋外約40mm以上を確保。国土交通省の定める基準値より厚く、鉄筋を錆から守る効果を高め、コンクリート強度の維持につなげています。

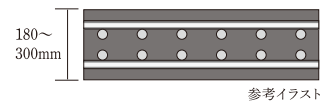


ダブル配筋の耐力壁

地震など、建物にかかる水平力の影響を受けやすい壁については、内部の鉄筋を二列配置したダブル配筋の耐力壁を採用し、自然災害に備えた工法を積極的に取入れています。

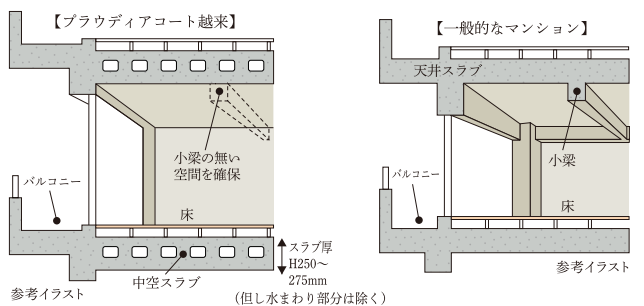


※手摺壁等の100mm~150mm厚の壁についてはシングル配筋となっています。



剛性が高く小梁のない中空スラブ構造

通常のスラブに比べて、より剛性の強い中空スラブ工法を採用。これにより遮音性の効果も向上します。さらに工法の特長から、小梁のないスッキリとした空間も実現しています。 ※2階床を除く



LIFE SUPPORT | ライフサポート

「大京アステージ」が暮らしの快適さを支える管理サービスを提供。

[24時間365日緊急窓口] 万一の緊急時にも24時間対応しています。

緊急対応「ログシステムセンター」

マンション共用部分の異常発生だけでなく、火災などもセンターで監視と通報を受付。警備会社と連携し24時間365日体制で、異常信号を受信した際には警備員が迅速に駆けつけます。



日々の相談 「くらしサポートデスク」

マンション管理について、住戸内の設備トラブル・修理について、また賃貸・仲介についてなど、さまざまな「住まい」についてのご相談に対応しています。

お住まいのルール	管理費など収納状況	管理組合の運営
駐車場関係	専有部分のリフォーム	アフターサービス
設備点検	修理対応	売買・賃貸
受付時間	午前9時~午後5時30分までフリーコールにて承ります。年中無休(年末年始除く)	

